



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社マルイチ産商 上場取引所 名
コード番号 8228 URL http://www.maruichi.com/
代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 柏木 康全
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 コーポレート管理本部長 (氏名) 仁科 圭右 TEL 026-285-4101
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績 (2023年4月1日～2023年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	61,236	2.8	355	7.2	503	△1.0	309	5.3
2023年3月期第1四半期	59,574	5.6	331	61.2	508	39.7	293	46.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 489百万円 (41.6%) 2023年3月期第1四半期 345百万円 (589.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	14.00	—
2023年3月期第1四半期	13.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	57,637	24,548	41.7
2023年3月期	55,376	24,548	43.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 24,007百万円 2023年3月期 23,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	3.00	—	17.00	20.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	10.00	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年3月期の連結業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	1.3	1,700	0.9	2,150	△5.1	1,200	△4.8	54.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	23,121,000株	2023年3月期	23,121,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,017,688株	2023年3月期	1,017,597株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	22,103,337株	2023年3月期1Q	22,095,802株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類見直しにより人流の増加やインバウンド需要が回復するなど、社会経済活動は正常化に向かっております。一方で、ウクライナ情勢等の影響を受けた原材料価格やエネルギー価格の変動など、物価の高騰による影響から依然として先行き不透明な状況が続いております。食品流通業界におきましては、相次ぐ値上げの影響による消費マインドの落ち込みや、物流費や光熱費等のさらなる増加が懸念されるなど、依然として厳しい経営環境が継続しております。

こうした環境の中、当社グループは2030年度をゴールとする中長期的な経営ビジョンに「地域のスペシャルパートナー」を掲げ、当社グループの独自機能の提供とステークホルダーとの協業を通じて、日本全国の地域における食品流通の問題・課題を共に解決し、共に成長することを目指してまいります。ビジョンの達成に向け、2025年度を目標年度とする「中期経営計画2025」を策定し、3つの事業領域において必要とされる存在になることを到達すべきステージと位置付け、企業価値の向上を目指しております。具体的な5つの経営戦略としまして「多面的・多角的な事業インフラの拡充」「信州事業の再強化・グループ最適化」「非効率事業・資産の見直し」「業務構造改革の推進」「サステナブル経営の取組み」を掲げ、各施策を推進しております。また、経営戦略の推進を下支えする組織運営方針に「エンゲージメント経営の実践」「連結経営の推進」「ガバナンス体制の強化」を掲げ、具現化に向けて取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は商品の仕入価格上昇に伴う販売単価の上昇や、外食・観光需要の回復等により612億36百万円（前年同期比2.8%増）となりました。利益面につきましては、売上総利益の増加により営業利益3億55百万円（同7.2%増）、営業外収益の減少等により経常利益5億3百万円（同1.0%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益3億9百万円（同5.3%増）となりました。

[セグメント別の概況]

※各セグメントの売上高については、セグメント間の内部売上高を除いて記載しております。

<水産事業セグメント>

水産部門は養殖魚の安定調達に向けた事業体制強化を目的に、川上領域におけるグループ企業への戦略投資を推進し、国内水産物の付加価値化と全国へのさらなる流通拡大を進めております。また、営業拠点のスリム化を図るなど業務の効率化に取り組んでおります。デイリー部門は練製品のブランドを発売開始するなど商品開発力の強化に取り組んでおります。フードサービス部門は外食や宿泊施設の需要が正常化しつつあり、販売が回復傾向にあります。

売上高につきましては、相場高に伴う販売単価の上昇と業務筋の需要回復もあり352億76百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面につきましては、売上総利益率の減少と販売管理費の増加等により営業利益は1億12百万円（同49.1%減）となりました。

<一般食品事業セグメント>

信州域内（長野・山梨エリア）での問屋機能強化と、県外におけるメーカーポジション販売戦略を推進し、より強固な事業構造の構築を目指しております。また、6月に甲府センターを移転し、山梨エリアの販売拡大を図ります。

売上高につきましては、商品の値上げに伴う販売単価の上昇や子会社信田缶詰(株)の売上回復もあり71億48百万円（前年同期比2.0%増）となりました。利益面につきましては、売上総利益の増加など収益性が回復傾向にあり営業損失は76百万円（前年同期は1億42百万円の営業損失）となりました。

<畜産事業セグメント>

食肉加工分野への重点投資により差別化と付加価値機能の強化を図り、重点顧客への調達・物流・加工機能のトータル提案による販売シェアの拡大を進め、また、業務用マーケット向けの商品開発の推進と長野県産商品の販路拡大に取り組んでおります。

売上高につきましては、畜産物の需要が堅調に推移する中、相場高に伴う販売単価の上昇と業務筋への販売が回復したことから105億17百万円（前年同期比5.1%増）となりました。利益面につきましては、調達・販売コストの上昇など販売管理費の増加により営業利益は80百万円（同26.9%減）となりました。

<丸水長野県水グループセグメント>

2024年度を目途とする当社と(株)丸水長野県水との本質的な統合に向け、統合委員会を中心に検討を進めており、信州事業の再強化とグループ最適化の実現に向け、グループ内の経営資源を集約することでより強固な体制への変革を目指しております。

売上高につきましては、各事業の販売が堅調に推移したことから80億41百万円（前年同期比4.7%増）となりました。利益面につきましては、売上高の増加に伴う売上総利益の増加と、年金資産運用における退職給付費用の一時的な減少により営業利益は2億1百万円（同74.6%増）となりました。

<その他（物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売及び保険代理店事業）>

子会社マルイチ・ロジスティクス・サービス(株)は、当社グループの物流業務・冷蔵倉庫事業の品質向上とローコスト体制の構築を、グループ内の各事業と連携しながら推進しております。

業績につきましては、売上高は2億52百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は37百万円（同33.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は576億37百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億61百万円の増加となりました。主な要因は、商品及び製品が28億52百万円増加したことによります。

負債は330億89百万円となり、前連結会計年度末と比較して22億61百万円の増加となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が15億65百万円増加したことによります。

純資産合計は245億48百万円となり、前連結会計年度末と比較して0百万円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の43.2%から41.7%に減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点では2023年5月11日に発表しました業績予想に変更はありません。

※ 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,767	4,541
受取手形及び売掛金	19,137	20,103
商品及び製品	7,683	10,536
仕掛品	28	525
原材料及び貯蔵品	240	232
その他	2,462	3,011
貸倒引当金	△22	△27
流動資産合計	37,296	38,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,671	2,643
土地	6,539	6,539
その他(純額)	1,210	1,385
有形固定資産合計	10,422	10,568
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	2,477	2,553
その他	204	250
無形固定資産合計	2,682	2,803
投資その他の資産		
投資有価証券	2,921	3,096
退職給付に係る資産	208	265
その他	1,968	2,230
貸倒引当金	△124	△250
投資その他の資産合計	4,974	5,342
固定資産合計	18,079	18,714
資産合計	55,376	57,637
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,726	24,292
短期借入金	1,200	1,545
1年内返済予定の長期借入金	289	240
未払法人税等	480	266
賞与引当金	609	306
その他	3,741	4,499
流動負債合計	29,048	31,151
固定負債		
長期借入金	42	211
役員株式給付引当金	84	84
債務保証損失引当金	44	44
退職給付に係る負債	666	648
資産除去債務	108	110
その他	833	838
固定負債合計	1,779	1,938
負債合計	30,827	33,089

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,719	3,719
資本剰余金	3,388	3,390
利益剰余金	17,484	17,416
自己株式	△1,097	△1,097
株主資本合計	23,495	23,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	601	761
退職給付に係る調整累計額	△191	△183
その他の包括利益累計額合計	409	577
非支配株主持分	643	540
純資産合計	24,548	24,548
負債純資産合計	55,376	57,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	59,574	61,236
売上原価	54,725	56,241
売上総利益	4,848	4,994
販売費及び一般管理費	4,517	4,639
営業利益	331	355
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	68	70
受取賃貸料	50	51
その他	63	42
営業外収益合計	182	164
営業外費用		
支払利息	3	2
持分法による投資損失	—	6
その他	2	6
営業外費用合計	5	15
経常利益	508	503
特別利益		
負ののれん発生益	—	10
特別利益合計	—	10
特別損失		
減損損失	—	11
段階取得に係る差損	—	7
特別損失合計	—	18
税金等調整前四半期純利益	508	495
法人税、住民税及び事業税	289	258
法人税等調整額	△95	△85
法人税等合計	194	173
四半期純利益	314	321
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	293	309

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	314	321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	21	160
退職給付に係る調整額	10	7
その他の包括利益合計	31	167
四半期包括利益	345	489
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	325	477
非支配株主に係る四半期包括利益	20	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	34,648	7,004	10,002	7,680	59,336	237	59,574	—	59,574
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	34,648	7,004	10,002	7,680	59,336	237	59,574	—	59,574
セグメント間の内部 売上高又は振替高	200	31	358	47	638	817	1,455	△1,455	—
計	34,849	7,036	10,361	7,728	59,975	1,054	61,030	△1,455	59,574
セグメント利益 又は損失(△)	221	△142	109	115	303	28	331	—	331

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	水産事業	一般食品 事業	畜産事業	丸水長野 県水グル ープ	計				
売上高									
顧客との契約から生 じる収益	35,276	7,148	10,517	8,041	60,983	252	61,236	—	61,236
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	35,276	7,148	10,517	8,041	60,983	252	61,236	—	61,236
セグメント間の内部 売上高又は振替高	268	37	410	67	783	811	1,595	△1,595	—
計	35,544	7,185	10,927	8,109	61,767	1,064	62,831	△1,595	61,236
セグメント利益 又は損失(△)	112	△76	80	201	317	37	355	—	355

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流・冷蔵倉庫事業、OA機器・通信機器販売・保険の代理店事業等を含んでおります。

2. セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。